

令和8年度京都府立盲学校第1回学校運営協議会報告

日 時 令和8年6月22日（月）13:30～15:30

場 所 京都府立盲学校花ノ坊校地 多目的教室

出席者 委員 9名、事務局 5名

（1）学校運営協議会について（校長）

学校運営協議会の設置目的、機能、組織等についての説明の後、学校運営への参画について改めて依頼しました。

（2）委嘱状の交付

（3）出席者自己紹介

（4）授業参観

高等部の授業を参観しました。

（5）会長選出

委員の中から、会長、副会長が選出されました。

（6）協議内容

①令和8年度学校経営計画について…校長が本年度計画について説明しました。

②令和8年度各学部教育課程について…各学部総括主事が説明しました。

③令和7年度業務量管理等について…昨年度の職員の健康管理や勤務実態について報告しました。

④令和8年度学校経営計画及び各学部教育課程への意見・承認について…熟議の後、承認されました。

⑤その他…次回の会議日程は11月下旬を予定（今後、日程調整）

（7）意見等の概要

- ・地域で学ぶ視覚に障害のある児童生徒数が増える一方で、盲学校で学ぶ児童生徒数が減少の一途をたどっているが、盲学校が専門機関として存続することの意義を、委員としても声を上げていきたい。
- ・視覚障害者総合福祉施設においても、放課後等デイは利用率9割となっているが、児童発達支援は4割、自立訓練は今年度初めて4月の利用者が無く、6月によりやく1名申し込みがあった。必要な支援が必要な方に届くように、関係機関の更なる連携と情報発信が必須である。
- ・三療の良さが十分に伝わっていないのではないかと思います。視覚障害者が力を発揮できる職業であることは間違いないので、夢のある業界にしていきたい。
- ・各障害種に係るボランティア団体のスキルアップ研修会などで盲学校のことをアピールするなど、まずは学校のことを知ってもらう取組を進めていくべきだと考える。

